

新年のごあいさつ 謹賀新年

市民の皆さまにおかれましては、希望あふれる輝かしい新年を迎えられたことと思います。本年は、昨年のような地震・台風・大雪などの自然災害も無く、安全で安心して暮らせる一年となるようお祈りいたします。また、葦山反射炉世界遺産登録を実現し、皆さまと共に喜びあえる年にしたいと思っております。

本市議会では、平成27年度から議会独自の事業評価を実施し、議会として「行政に対し主張すべきは主張」し、二元代表制の一翼を担う責務を果たしていく所存です。

また、昨年10月には、市の重要課題をテーマとした議会報告会を開催いたしました。開催の趣旨は、市民の皆さまと議員が語り合い、皆さまのご意見を議員活動・議会活動に生かすことにあります。今後にも必要に応じ、行政に伝えるべき内容は伝え「市民の声の実現」に努めてまいります。

本市議会は、ますます多様化する社会・経済情勢、市民ニーズを的確に把握し、「市民の求めるまちづくり」・「安全で安心して暮らせるまちづくり」の実現を目指してまいります。本年も、議会に対する市民の皆さまの一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、新しい年が市民の皆さまにとって、素晴らしい年となるようご祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。



伊豆の国市議会議員

古屋 鋭治

葛城山山頂より



伊豆の国市長 小野 登志子

2015年の輝かしい新年を迎え、市民の皆さまには、心からお慶び申し上げます。

わたしたちのまち伊豆の国市は、市制施行後10年の節目を迎え、4月からは新たな10年に入ります。

そして、いよいよ、葦山反射炉が「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の構成資産として、世界文化遺産への登録可否の決定を受けます。

葦山代官江川坦庵公は、19世紀半ば、すでに世界を視野に捉え、国を守るための諸施策を幕府に提案しました。その一つ、1857年に築造された葦山反射炉は158年の時を経た今も、大空に向かって堂々とそびえております。わたしたちは、このまちのシンボルをしっかり保存し、後世に受け継ぐとともに、偉大な先人がこの地に在ったことを誇りとして、新たな時代を拓いていかなければなりません。

葦山反射炉周辺整備も始まっております。伊豆の国市のそこかしこに、まちづくりの槌音を高らかに響かせてまいります。